

陳 情

海老川上流地区に「市営の調圧水槽」を建設することについて

(願意)

1. 海老川水系（海老川、飯山満川、高根川、念田川、北谷津川）からあふれた水を貯めたり放流したりする「調圧水槽」を建設すること。
例えば、埼玉県春日部市にある国土交通省の首都圏外郭放水路と同じものです。

(理由)

1. 千葉県は、船橋市街地の浸水被害の軽減を図るために海老川水系河川整備計画に基づき河口から八栄橋までの区間において河道改修や海老川調整池の整備を実施中です。
2. また、飯山満川については、海老川に合流する地点から上流側2,800mの区間において流域の区画整理事業と連携しながら河川改修が実施中です。
3. これまでに、飯山満地区土地区画整理事業区域内の延長700mのうち、500mの河道、1号調整池及び2号調整池の整備が完了しております。
4. 船橋市は、市内の小中学校29校の校庭に雨をいったん貯めて、少しずつ川に排水する「校庭貯留」を実施しております。
5. 当会は、土地区画整理事業やメディカルタウン構想、新駅構想などで数百億円の予算規模、そして、いつ終わるのかわからない事業ばかりで数十年経過、これからも数十年かかりそうな事業に固執しないで「調圧水槽」の建設へ変更して、その上部は大規模な防災公園、観光農園等の整備をご提案するものです。
6. 尚、令和3年度決算の市民税は「1,018億円」もあり船橋市単独事業として建設可能な予算規模であり、千葉県の予算に頼ることなど必要ありません。

災害は、待ってくれません！！

※添付資料 国土交通省首都圏外郭放水路の記事 1部